

# 教員との連携とアプローチ方法

—悩める図書館員のために—

学術情報リテラシー教育担当者  
共同討議1班



# 内容

問題点

背景

解決の方向性

実際のアプローチ方法

教員への有効的なアプローチ方法

ガイダンスの効果



## 問題点

- 図書館独自で開催しても受講者が集まらない
- 教員との関りに悩む図書館が多い
- 図書館ガイダンスの良さが理解されていない



## 原因・背景

- 図書館のアピール不足
- 学生が自ら学習するという意欲が少ない。
- 図書館の必要性を感じていない。
- 学生生活もアルバイトやサークル活動など忙しい。

# 解決の方向性

- 教員と連携したガイダンスをおこなうこと

# 実際のアプローチ方法

- 組織的にアピール

図書館 図書委員会

カリキュラム作成決定機関 決定

- 個別にアピール

個人 複数の先生 学部の先生

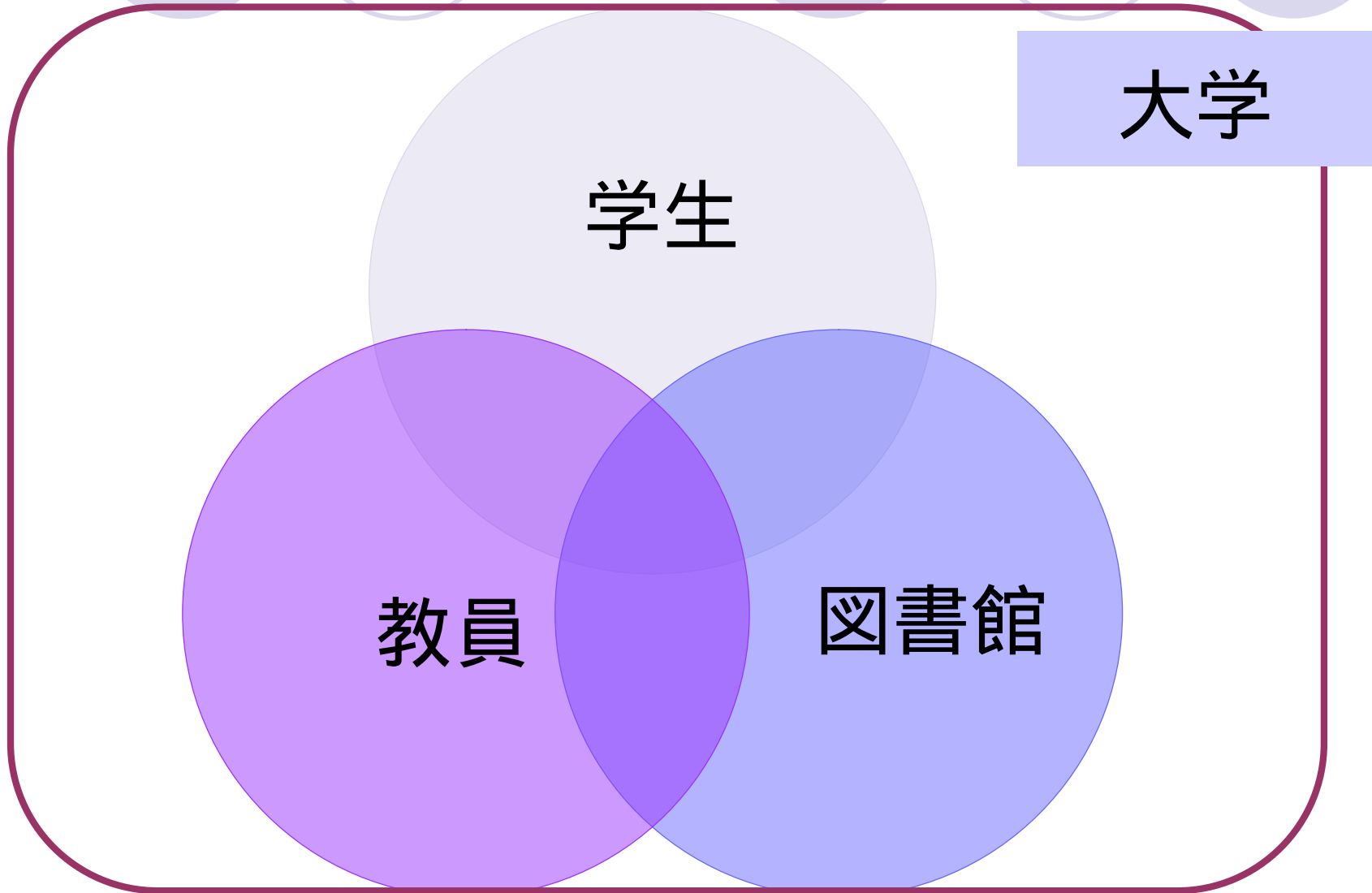
カリキュラム作成決定機関 決定

両方を組み合わせるとより効果的

# 教員への有効的なアプローチ方法

- ガイダンスのたまかな目的や内容が分かる資料を渡しておく。(事例案内)
- 現在行っているガイダンスのアンケートでよさを伝える。(事例結果報告)
  - ・ 学生の当日のアンケート結果
  - ・ 学生の数ヵ月後のアンケート結果
  - ・ 教員へのアンケート結果

# ガイダンスの効果



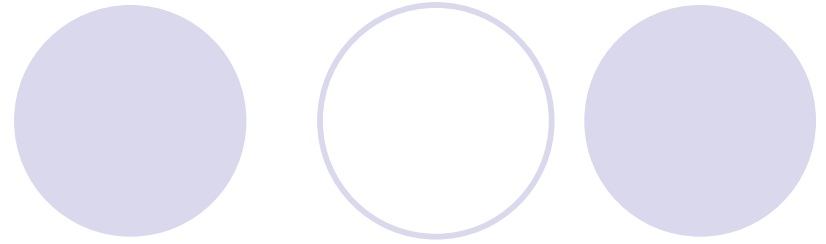
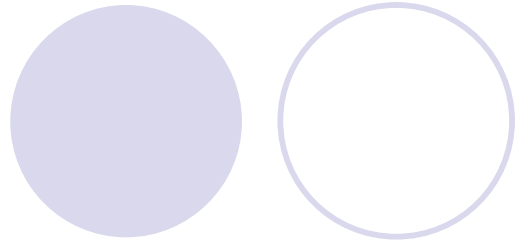
大学

学生

教員

図書館





おわり

～ 皆さんの成功をお祈りします ～